

英語科学習指導案

日 時：平成 23 年 10 月 6 日（木）5 校時
対 象：滝沢村立柳沢中学校 第 1 学年
（男子 3 名 女子 3 名 計 6 名）
指導者：盛内 広美

1. 単元名 Unit 6 「グリーン家の人々」 (NEW HORIZON English Course Book1 東京書籍)

2. 単元について

(1) 生徒観

小学校における音声面を中心とした外国語活動によって、コミュニケーションに対する積極的な態度や、言語や文化に対する理解など、一定の素地が育成されている。この素地を生かしながら、4 月からは音声指導に重点を置き、「英語らしい発音」と「適切な速さ」に力を入れて指導してきた。そのため、リズムに乗って英語の文を話すことや英語の音を正しく聞き取る力がついてきている生徒が多いと感じる。5 月に入ってから教科書内容を取り扱い始め、6 月後半からは英文を与えられた時間内に正確に読むテストと、符号や単語の綴りに注意して正確に書くテストを開始した。音読と、英文を書く練習を、授業と家庭学習を連動させて継続的に行うことで、6 人中 5 人が Unit4 までの教科書本文全文を暗記し、書けるようになってきている。

文法事項に関しては、外国語活動で慣れ親しんだ表現を活用しながら指導することで定着が図られている。本単元で扱う、第三者を主語とする文で一般動詞を用いる表現は、英語ノート 1・Lesson8『時間割を作ろう』で歌う“Sunday, Monday, Tuesday”の歌詞の中の“Sunday comes again.”と、英語ノート 2・Lesson8『オリジナルの劇を作ろう』の、“Grandpa pulls the turnip.”という文で触れているが、文法的な要素は学習していない。本単元では、主語の人称や数によって動詞の形が変化するという文法的な側面を理解させる必要があるが、日本語にはない概念なので生徒のつまづきが予想される。三人称単数現在形についての理解や定着のための練習に十分な時間を確保し、実際に活用できるよう、くり返し指導したい。

(2) 教材観

カナダに住んでいるグリーン先生の姉、リサが話題の中心で、第三者を紹介するという場面設定である。また、日本の代表的な文化でもある「仮名や漢字」「歌舞伎」について触れたり、カナダには日本語を学ぶ人がいることや、母国語の違う者同士が英語でコミュニケーションをとっているという内容から、自国及び国際社会への理解を深め、さらには英語が必然的に必要とされる場合があることを理解させることができる題材である。

言語材料としては、一般動詞の三人称単数現在形の導入単元である。今まで、Unit2 で be 動詞を用いて「人を紹介する」場面を学習し、Unit3 で一般動詞を用いて自分のことを紹介したり、相手に様々な動詞を用いて問答する文を学習してきた。本単元で主語が三人称単数の場合の一般動詞を用いた文を学習する事で、さらに表現の幅を広げることができる。

(3) 指導観

ア. 指導のねらい・工夫

主語によって動詞の形が変化するのは日本語には存在しない概念のため、生徒にとっては理解と定着が困難であると予想される。そこで、主語が1人称または2人称の場合の文と比較させて理解を図り、パターンプラクティスを多く取り入れることで定着を図りたい。

また、音読や口頭練習においては、強勢、イントネーションや文末の調子、区切りなどに注意して、自然なスピードで正しく発音することに注意させ、聞き手に正しく伝えることを意識させたい。楽しみながら学習できる授業の展開を図り、第三者について説明したり、尋ねたりできる力を育みたい。

イ. 研究との関わり

「伝え合う力」を育成するための手立て

第1学年においては、「身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行わせること」に重点を置き、4技能を統合的に活用できるコミュニケーション能力の育成を目標としている。ここでは、家族や友達、学校の先生、好きなアイドルなど、第三者について簡単な表現を用いてコミュニケーションを図る場面を設定することで、英語を使って伝え合える楽しさや喜びを感じさせ、相手を意識したコミュニケーションを図る中で、「伝え合い」の力を育成したい。

3. 単元の評価規準

- ・伝えたいことを、間違いを恐れずに発表している。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・三人称単数現在形を用いて家族や先生のことを紹介したり、第三者について質問したり、応答したりすることができる。【表現の能力】
- ・強勢、イントネーション、区切りなどに注意して正しく発音し、適切なスピードで本文を読んだり話したりすることができる。【表現の能力】
- ・三人称単数現在形を含む英文を読んだり聞いたりして、その内容を正しく理解することができる。【理解の能力】
- ・三人称単数現在形の形・意味・用法を理解している。【言語や文化の知識・理解】
- ・自国や他国について関心を持つとともに、国際語としての英語の役割や必要性について理解することができる。【言語や文化の知識・理解】
- ・三人称単数現在形の単語の発音の仕方を理解することができる。【言語や文化の知識・理解】

4. 学習指導計画（全11時間）

- | | | | | |
|-----|-----------------|------------|-------|------------|
| (1) | Part1 | 人について紹介しよう | ----- | 2時間 |
| (2) | Part2 | リサは日本通？ | ----- | 2時間 |
| (3) | Part3 | トロントはどんな町？ | ----- | 2時間 |
| (4) | まとめと練習3 | | ----- | 2時間（本時2／2） |
| (5) | Listening Plus2 | 友達のプロフィール | ----- | 1時間 |
| (6) | Speaking Plus2 | 道案内 | ----- | 2時間 |

5. 本時の指導

(1) 目標

- インタビューで聞き取った内容を、三人称単数現在形を用いた文に置き換え、友達に伝えることができる。 【表現の能力】

(2) 展開

段階	主な学習活動	○留意事項 ◎評価 【観点】 《方法》
導入 10分	1 挨拶をする。 2 三人称単数現在形の確認をする。 3 学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> インタビューで得た情報を、三人称単数現在形を使って、みんなに伝えよう。 </div>	○活動目標の設定をする。(内容、時間、文量)
展開 30分	4 課題解決のための準備をする。 ①インタビューの内容と流れについて考え、練習する。 ②インタビューする。 例) My name is ○. Nice to meet you. May I have your name? … I like animals. I have a dog. His name is Kuro. It's very cute. Do you have any pets? What … ③インタビューした事柄についてまとめ、発表の準備をする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 5 発表 自分がインタビューした相手について、英語で紹介する。 </div> 例) Hi, everyone. This is Mr.○. He is from Miyagi. He is an English teacher. He likes driving. He has a good new car. He goes to school by car. …	○正しい発音や適切なスピードなど、各自に目標を持たせ、練習させる。 ○メモを確認しながら相手を見て話させる。 ○be 動詞を使った疑問文も含んでいいこととするが、Do で始まる疑問文をできるだけ多く用意させる。また、自然な対話の流れを考えさせ、話題を変えるときや相づちを打つときの表現も与えておく。 ○発表の時に意識すべき点を確認する。 ○主語や動詞の s(es)に注意させる。 ◎三人称単数現在形を用いた文を使って、発表することができる。【表現の能力】《発表》 ○発表を聞いた後で評価カードに記入させることを伝え、発表者が何を伝えようとしているか、また伝えるための工夫やその効果などについて注意しながら聞かせる。

		<p>○正しく伝えられたかインタビューの相手に英語で確認させる。</p> <p>例) How was it? How did I do? Was my presentation O.K.? Any mistakes? …</p>
終 末 10 分	<p>6 学習を振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>インタビューの相手について、主語を He/She に置き換えて、動詞に三単現の s(es) をつけて言い換え、みんなにわかりやすいように、発音と声の大きさ、スピードに注意しながら発表することができた。</p> </div> <p>7 次時の学習内容の確認をする。</p> <p>8 挨拶をする。</p>	<p>○ノートに記入後、発表させる。生徒の自己評価により、課題の必要性を確認する。</p>

(3) 評価規準

観点	A:十分満足できる(例)	B:おおむね満足できる	Cの生徒への手立ての例
表現の能力	聞き手を意識して、正しい強勢、イントネーション、区切り、文の順序などに注意し、適切なスピードで三人称単数現在形を使って、第三者を紹介することができる。	インタビューで聞き取った内容を、三人称単数現在形を用いた文に置き換えて第三者を紹介することができる。	語順や、単語の綴りをチェックしながら、主語が三人称であることに気づかせ、動詞の変化に関するヒントを与える。